

令和7年度第5回全国健康保険協会東京支部評議会 議事概要報告

開催日	令和8年1月16日 金曜日 15:00~17:00
開催場所	全国健康保険協会東京支部内 会議室
出席評議員	岩崎評議員、恩藏評議員、加納評議員、関口評議員、田倉評議員、椿評議員、藤川評議員、藤田評議員、古屋評議員（五十音順）
議題	<p>1. 令和8年度 平均保険料率について 2. 介護保険料率及び子ども・子育て支援金率について 3. インセンティブ制度（令和6年度実績）について 4. 令和8年度 東京支部保険料率（案）について 5. 令和7年度 第3四半期事業報告について 6. 令和8年度 東京支部事業計画（案）について 7. 令和8年度 東京支部保険者機能強化予算（案）について 8. その他</p>
議事概要 (主な意見等)	<p>1. <u>令和8年度平均保険料率に対する全国支部評議会意見について</u> 2. <u>介護保険料率及び子ども・子育て支援金率について</u> 3. <u>インセンティブ制度（令和6年度実績）について</u> 4. <u>令和8年度 東京支部保険料率（案）について</u></p>
● 学識経験者	<p>平均保険料率の引き下げ幅の決定経緯について伺いたい。また、子ども・子育て支援金の導入により実質的に加入者負担が増加した点を加味したうえで、平均保険料率が設定されたのか。</p>
→● 事務局	<p>各支部評議会からの意見、政府方針や加入者層が類似する総合健康保険組合の平均水準を参考に検討するよう、厚生労働省からの要請を受けたことも含めて、総合的に判断したものである。子ども・子育て支援金については、平均保険料率を検討する時点では、同内容が確定していなかったため、十分に勘案していない。</p>
● 学識経験者	<p>他保険者の保険料率の水準を考慮したのであれば、水準を検討していくうえで、1つの事例が作られたのではないかと考える。また今後、子ども・子育て支援金率を加味して平均保険料率を議論することも検討すべきである。</p>

→● 事務局

現時点では総合健康保険組合の保険料率及び子ども・子育て支援金率を勘案することについて、明確な方針はない。但し、将来的に平均保険料率を引き上げる場合、または引き下げる場合の基準について、継続的に検討していく必要があると考える。

● 事業主代表

平均保険料率は下がったが、子ども・子育て支援金が加わることにより実質負担増になつたことが非常に残念である。（保険者が徴収するならば）使用用途や効果検証等、保険者として積極的に意見していただきたい。

→● 事務局

意見として承る。なお、子ども・子育て支援金制度については、子ども家庭庁のなかに、これらを議論する審議会等が設けられている。その部会には協会の理事が委員として参画している。

● 学識経験者

協会が中医協や公的な議論する場において、評議会等の意見を参考に意見発信することが重要であると考える。

● 事業主代表

子ども・子育て支援金率が加算されると実質負担が増える。物価上昇の影響もあって、大変厳しい現状である。結果的に若い世代の負担が増える。令和9年度は平均保険料率を更に引き下げるよう要望する。

→● 事務局

意見として承る。

● 議長（評議会の意見として）

支部保険料率について、東京支部としては、9.85%で了承するということでおろしいか。
(評議員) 了承

5. 令和7年度 第3四半期事業報告について

● 事業主代表

銀の認定制度の見直し案を提示したところ否決された理由を伺いたい。また、東京都のみが実施している価値はあるのか。

→● 事務局

過去に評議会や健康づくり推進協議会でもご意見をいただき、健康経営優良法人申請要件に銀の認定が必須となっている事について、見直し案を提示したが、残念な結果となった。銀の認定のステータスの低下や制度縮小につながるとの意見が多く、結果として否決された。

● 学識経験者

銀の認定を取得すれば健康経営の波及効果が高いということか。また、効果測定はしているのか。

→● 事務局

高いと考えられる。但し、効果測定は難しい状況である。

● 事業主代表

不適切な請求を行っている柔道整復師の施術所について、面接確認委員会を実施したとあるが、法的な拘束力はあるのか。

→● 事務局

協会に処分権限はなく、関東信越厚生局に情報提供をし、その後の調査等で処分が下りた事例はある。また、不正請求であれば刑事告訴を実施した事例もある。

● 学識経験者

電話対応スキルの向上や架電調査結果に対する研修について、特定の職員への研修なのか、または職員全体への研修なのか。

→● 事務局

電話対応スキルの向上については、新任の健康保険相談員を対象に研修を実施した。架電調査結果に対する研修は、お客様満足度が低い項目を中心に職員全体へ研修を実施した。

6. 令和8年度 東京支部事業計画（案）について

7. 令和8年度 東京支部保険者機能強化予算（案）について

● 学識経験者

被扶養者の健診受診率が高い要因は何か。また、被扶養者と比較し健診受診率が低い被保険者には何か工夫した取組を行っているのか。

→● 事務局

被扶養者については、集団健診に注力している。また、東京都歯科医師会と連携しながら、会場での歯科検診を実施している。東京都内は集団健診だけでなく、受診できる医療機関の多さが寄与していると考える。被保険者については、大規模事業所が多く、全国各地に従業員が分散しているため、十分に案内が届きにくいという課題がある。そのため事業者健診データの取得強化に注力しているところである。

● 学識経験者

健診受診率が高い支部はどこなのか。

→● 事務局

山形支部である。他医療保険者でも山形県は非常に高い受診率と聞いている。また、東京都内の島しょ部は非常に健診の受診率が高い。地域性が関係していると考える。

● 学識経験者

参考データ集より疾病別1人当たり医療費が興味深い。東京支部と全国を比較する中で、地域差について分析はしているのか。

→● 事務局

今後、分析を進めていく予定である。

● 議長（評議会の意見として）

東京支部事業計画、広報計画及び保険者機能強化予算について、評議会として承認することによろしいか。

(評議員) 了承

以上

特記事項

- ・傍聴者：あり
- ・次回の開催予定：令和8年5月予定